



一部注文中の図書を  
含みます!  
★は希望図書です。

10月27日~11月9日は読書週間。  
図書館では第2回図書館フェアを開催中です!  
秋の夜長に、読書を楽しんでみませんか?

## NEW ADDITIONS 新しくいった本

書名	著者	内容
橋の上で	湯本 香樹実	学校帰り、ぼくは橋の上で川の水を見ていた。いまここから川にとびこんだらどうなるだろうって考えながら。
後宮の鳥 4	白川 紺子	ある日二人は、とある失せ物探しを発端に真実眠る歴史の深部に対峙することに…。
ヨノナカを変える5つのステップ	鎌田 華乃子	納得いかないルールや社会を変えたいなら、「コミュニティ・オーガナイズング」をやってみよう!
★『こち亀』社会論	稲田 豊史	大衆社会を定点観測し続けた国民的漫画「こち亀」の連載40年の偉業から、昭和~平成日本の歩みを追う。
超怖い物件	平山 夢明 ほか	実力派作家たちによる、物件怪談オムニバス。
サブスクの子と呼ばれて	山田 悠介	「ヒト」のサブスクサービスが普及した日本を舞台に、幼なじみ2人の苦悩と葛藤、そして絆を描く、狂気と感動のサスペンス大作。
われ去りしとも美は朽ちず	玉岡 かおる	世界に類を見ない規模の美術館として知られている国際美術館の設立に尽力した人々の姿を描く。
のほほん生化学	玉先生	高校で生物や化学を習わなかった人でもわかるように、生化学の基本をイラストで解説。
葉と嘘の季節	米澤 穂信	『本と鍵の季節』(図書委員シリーズ)待望の続編!猛毒の葉をめぐる、幾重もの嘘。
秘密	谷崎 潤一郎	谷崎潤一郎の小説「秘密」と、ツルヒロミの描き下ろしイラストの珠玉のコラボレーション。
赤ずきん、ピノキオ拾って死体と出会う。	青柳 碧人	世界のみんが知っている童話をベースにした連作本格ミステリ第二弾。窓作も、あの決め台詞が炸裂します。
図解まるわかりメタバースのしくみ	波多間 俊之	メタバースの全体像から基礎的なしくみや新しい技術までを、最新技術とともに、見開き1項目で解説。
★#真相をお話しします	結城 真一郎	緻密で大胆な構成と容赦ない「どんでん返し」の新感覚ミステリ短編集。
聞く技術聞いてもらう技術	東畑 開人	カウンセラーが、聞くための小手先の技術から、聞いてもらうことに備わる深いちからまでを紹介。
横浜・山手図書館の書籍修復師は謎を読む	宮ヶ瀬 水	「物語」は絶対の安全を保障された冒険ではない……
処刑少女の生きる道(バーजनロード)8	佐藤 真登	消える記憶、消えぬ想い。彼女が彼女を殺すための物語、待望の第8巻。
“正しい”を疑え!	真山 仁	自分を信じて自分らしく生きるためのヒントが満載。
Cocoon 京都・不死篇3-愁-	夏原 エキジ	妖鬼を操る陰陽師集団VS.鬼退治組織「黒雲」。京を舞台に、友を失った元花魁剣士たちの壮絶な戦いが始まる。

## 第2回図書館フェア「“お金”のこと」開催中! (10/24~11/26)

第2回図書館フェアでは、「お金」をテーマに様々な図書を展示中。

### 展示図書の一部を紹介

- 三千元の使いかた 原田 ひ香/著  
「人は三千元の使いかたで、人生が決まるよ」知識も深まる「節約」家族小説。
- しびれる短歌 東 直子/著  
恋、食べ物、家族、動物、時間、お金、固有名詞の歌、トリッキーな歌…。  
ふたりの歌人による楽しい短歌入門。
- ぐでたまの『資本論』 朝日文庫編集部//編/著  
働くこととお金の関係について、ぐでたまと一緒に学びましょう。
- ソードアート・オンラインプログレッシブ 4 川原 礫/著  
〈遺跡〉エリアで〈遺物拾い〉をこなし、アイテムやコル(お金)を稼いでいく2人だったが、
- 英国のOFF 入江 敦彦/著  
お金はかからないのに限りなく贅沢な「人生のOFF」時間。



### お知らせ

◎図書館閉館予定です。

11月4日(金) 16:30~17:00

5日(土) 9:00~17:00

26日(土) //

※変更するときは、図書館入口に掲示します。



※図書館内の表題と、窓に貼ってあるテーマは、書道部の作品です。

※表題のイラストは、総合学科3年 イラスト選択者の作品です。また、作成してくれた葉がカウンターにあります。ご自由にどうぞ!

### 図書委員 おすすめの本紹介!

- 『車いす犬ラッキー』 小林 照幸//著  
車いす犬ラッキーと、その飼い主の日々や成長を書いた本です。少し落ちこんだ時や、何か読んでみたいけれど読みたい本がない、という時にぜひ読んでみてください。
- 『わたしの幸せな結婚』 顎木 あくみ/著  
家でひどい仕打ちをされている主人公が、婚約者候補たちが三日と持たずに逃げ出してしまう悪評の若き軍人との嫁入りを命じられます。けれど、どんどん日々を過ごすうちに2人は心を通わせていくそんな話です。その描写がとてもキュンキュンするので読んでほしいです。
- 『夜啼きの森』 岩井 志麻子/著  
ちょっと長いけど、読み出すと止まりません。言葉が難しいけど、面白いです。